

杉並区立西田小学校 令和2年度第1回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和2年5月18日(月) 16時から16時40分
- ・場所 オンライン会議(Zoom)のため委員ごとに別個の場所
- ・出席者 諏訪会長、成田職務代行(司会)
【委員】鈴木校長、恵羅、渡邊、望月、中澤、目黒、檜枝(記録)
【事務局】神近副校長
【欠席】半澤、山内
- ・資料 資料1 令和2年度 学校経営グランドデザイン(事前配布)
資料2 学校経営グランドデザインのテキストマイニング結果(画面共有と後日配信)

オンライン会議開催の経緯

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、杉並区立学校は3月2日から臨時休業となり、4月7日には緊急事態宣言が発令された。その後、臨時休業は5月31日まで延期された。そのため4月20日に予定していた協議会は中止した。5月18日に予定していた協議会は一堂に会することなくオンライン会議で開催することにした。

1 会長挨拶

- ・3月2日から休校が2カ月半続き、先生方はさぞ大変だったと思うので、労わせてもらいたい。近々学校が再開されるだろうが、その準備が加わるのでさらに大変になると思うので、頑張ってもらいたい。

2 校長挨拶

- ・先生方は元気だが、休校が長いびいておりモチベーションの維持が大変だ。
- ・子どもたちは頑張っているが、もう限界という家庭も出始めている。担任が手厚く対応してなんとか持ちこたえている。
- ・学校再開後、約3カ月の休校の影響が出ると思われるので、何とか工夫して乗り切りたい。
- ・新しく加わった教員は良い人ばかりであった。
- ・新しく副校長として着任した神近先生を紹介した。その後、神近先生から挨拶があった。

3 各委員から

各委員が近況報告、意見表明等を行った。

- ・中澤委員から以下の報告があった。協議会日より4号は編集を終了した。近日中に神近副校長に立ち合ってもらい印刷業者に発注し、5月末発行を予定している。
- ・行事よりも授業を優先してほしいという保護者の意向が紹介された。
- ・大学におけるオンライン授業の経験が紹介された。自習には有効だが、従来の講義形式の延長線上ではうまく機能しないので、提供側の企画と受講者の心理的な側面の両面の工夫が必要であろう。
- ・3月に大学教授を定年退職したので、時間が自由になるので学校で必要なことはお手伝いできる。
- ・保護者に、親子ともに「自転車の通行区分を守る」ことを伝えてほしい。左側通行、左折は小回り、右

折は大回りが基本。(注：後日、警視庁発行のチラシ小学生用「自転車に正しく乗ろう」が西田小 HP にアップされた。)

- 学校再開後に一斉登校してソーシャルディスタンスを学ぶ機会に利用したらどうか。
- 区民センター協議会活動をしている。現在活動は停止しているが、どのように再開できるか苦慮しているので、西田小のご苦勞がよくわかる。

4 学校経営グランドデザインのテキストマイニングについて

- 成田職務代行が、学校経営グランドデザイン(資料 1)をテキストマイニングした結果を報告した(資料 2)。
- ワードクラウドの真ん中に大きく「児童」が来ており、子どもが中心となっていることがよくわかる。
- ポジティブな反応や喜びの感情が多いという結果も出ている。
- このような手法には限界があるので、IT の分析結果を我々がどう読み解き活用するのか工夫が必要になる。

5 今後の見通しについて

- 校長から以下の発言があった。区の方針が今週中に決まれば、それに応じた対応を西田小が決める。決まったらお知らせする。授業時間を確保するために詰込みすぎれば学校がつまらなくなるので、楽しさも加えたい。

6 事務連絡 今後の予定と活動について

- 次回協議会開催予定
6月15日(月)16時～(会議形式は後日連絡あり)

以上